

委員会審査報告書

本委員会に付託の議案を審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第107条の規定により報告します。

令和3年6月30日

三木市議会議長 大西 秀樹 様

民生産業常任委員長 古田 寛明

記

1 議案及び審査結果

議案番号	付託事件名	審査結果
第48号議案	令和3年度三木市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
第49号議案	工事委託契約の締結について	原案可決

2 審査経過

本日、本委員会を開催し、議案を審査した結果、全員一致をもって原案のとおり可決された。

なお、第48号議案に対し、別紙のとおり附帯決議を付すことに決定した。

また、審査の過程において委員から、テイクアウト支援事業について、先般、指摘のあったチケットの不適切使用については、すでに市は店舗側を指導したとのことであるが、明らかに悪意のある場合もあれば、制度の趣旨が正確に伝わらずに行われた場合もあるため、今後このような事業を実施する際は、制度の周知について徹底されたい。

また、神戸電鉄粟生線三木駅再生事業について、市が積算した工事費及び工事内容に対し、神戸電鉄から協議の申し入れがあり、協議の結果、工事費の追加が必要になったとのことであるが、営業線近接工事に係る安全対策や夜間工事の必要性を実施設計の際に市が確認していなかったこと等が原因であることから、工事費の積算の際には関係機関と十分に調整し、技術的な面で問題がないか確認を徹底するよう努められたい等の意見、要望があった。

令和3年6月30日

民生産業常任委員長 古田寛明様

民生産業常任委員 泉雄太

「第48号議案 令和3年度三木市一般会計補正予算（第4号）」
に対する附帯決議について

上記の附帯決議案を下記のとおり提出します。

記

「第48号議案 令和3年度三木市一般会計補正予算（第4号）」の採決に当たり、8款土木費、4目交通政策費の神戸電鉄粟生線三木駅再生事業において、見積費用の増加に伴い、駅舎建設費用を6,836万円増額する件で、次の意見を付するものとする。

当該費用は、当初予算で1億3,000万円を見込んでいたが、今回の補正により1億9,836万円となり、6,836万円（52%）もの巨額の増額となった。

増額の経緯としては、市が神戸電鉄と事前に調整した上で1.3億円の当初予算を算出したにも関わらず、その後、三木市の委託により工事を発注する神戸電鉄が見積を徴取したところ予算との巨額の差異が発生し、市と調整の結果今回の増額補正となったものである。

当初予算提案前に三木市・神戸電鉄双方が十分な精査ができておらず、後になって必要な経費の見落としによって追加の補正が生じること、また、このような重大な案件を議会最終日に追加提案を行う当局の姿勢は誠に遺憾である。

しかしながら、完成が既に遅れている神戸電鉄三木駅の早期完成を待ち望む市民の意向を考えれば当該予算を削除することは難しいと考える。そこで、当附帯決議を行い、社会的要因によるものを除き、当該予算が決してこれ以上の増額とならないよう確認及び調整をするとともに、今後同様の事象が起こらないように、市当局に対して、更なるチェック体制を設け、予算上程前に十分に精査するよう決議する。